

事 務 連 絡
平成16年7月28日

各郡市区医師会長 殿

国立保健医療科学院
公衆衛生政策部長

「死体検案業務」講習会(ご案内)

盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、本年1月に貴会のご協力を得て開催いたしました「死体検案業務の質の確保等に関する研究セミナー ～検案の明日を考える～」は北海道から沖縄県まで全国各地から100名を超える皆様のご参加を得たところであり、その内容につきましてもお陰さまでたいへんご好評を頂きました。

その際、検案業務により密接な内容の講習会を開催するよう強いご要望があり、それを受けまして、日本法医学会の全面的なご協力の下に、標記講習会を行うこととなり、別添の通り、前回同様、開催のご案内を申し上げる次第です。

つきましては、開催まで日が浅く申し訳ございませんが、貴職におかれましては会員各位にご参加の呼びかけをおねがいたしたく、ご案内を差し上げた次第です。ご関心のある多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(なお、本ご案内の発送につきましては昨年12月のご案内状の発送時と同様、日本医師会桜井副会長とご相談の上でありますことを申し添えます。)

以上

(本講習会に関するお問い合わせは、国立保健医療科学院 教務第三係まで
お願いします。 048-458-6185、Fax048-458-6112)

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和

「死体検案」講習会の実施について

国立保健医療科学院では、厚生労働省の方針に基づき「死体検案」業務の充実を図るため、日本法医学会の協力の下、日頃、検案実務に従事する機会の多い医師を対象に、検案業務に関する講習会を開催することといたしました。

講習会は対象者の日常診療の便宜を考え、3日間に及ぶカリキュラムを2回に分割し、土日を利用して9月及び2月に実施することといたしております。また、この合間に、東京都監察医務院や大阪府監察医事務所等における監察医業務や、大学医学部の法医学教室における法医学解剖を各自で見学実習をしていただき、後半の講習会の材料としていただく予定です。

なお、見学実習を含む全カリキュラム修了者には受講修了証が発行されます。

記

1. 期 日： (前半) 平成16年9月18日(土) 午前10時 ～午後6時30分
19日(日) 午前9時 ～午後5時30分
(後半) 平成17年2月19日(土) 午前9時20分～午後5時
2. 対象者： 検案業務に従事する機会の多い医師
3. 定 員： 100名程度(希望者が多い場合は増員を検討します。)
4. 受講料： 無料
5. 会 場： 国立保健医療科学院
6. 備 考：

受講を希望される方は、前半、後半共に出席することが可能であることをご確認ください。また、別途、その間に監察医業務や法医学解剖を見学することが可能であることもご確認ください。

昼食及び意見交換会でご用意する軽食・飲料は実費をご負担いただきます。

なお、この講習会は平成16年度厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)「死体検案業務の質の確保等に関する研究」(H15-医療-016)により行いますので、受講者にはアンケート等へのご協力をお願いいたしますので、ご了承ください。

○申し込み・お問合せ先：埼玉県和光市南2-3-6 国立保健医療科学院(教務第三係)

電 話：048-458-6185

FAX：048-458-6112

(宿泊は、各自ご手配ください。最寄りのホテルとしては、東横イン和光市駅前が8月末にオープン予定と聞いております。<http://www.toyoko-inn.com/hotel/00090/index.html>)

死体検案講習会プログラム

(前半) 1日目 (H.16.9.18)	担当	形式	時間	主な内容
開講式			10:00-10:20	・ 厚生労働省担当官 挨拶 ・ 国立保健医療科学院長 挨拶 ・ 日本法医学会 挨拶
I. 目的 II. 法規	吉田謙一 (東大)	講義	10:20-11:50	・ 関係法規 ・ 欧米との制度比較
III. 検案書 1) 法規・書式 2) ICD10	武市早苗 (東海大)	講義	12:00-13:00	
(昼 食)				
3) 検案書の書き方	高津光洋 (慈恵医大) 池田典昭 (九大)	実習 講義	13:50-15:50 16:00-17:00	・ 死亡確認時間と死亡時間について ・ 大規模災害時の検死の記入取扱い
(意見交換会：軽食)	勝又義直 (日本法医学 会理事、名大) 福永龍繁 (東京都監 察医務院長) 高津光洋 吉田謙一		17:00-18:30	

2日目(H.16.9.19)	担当	形式	時間	主な内容
IV. 検案の注意点	斉藤一之 (埼玉医大)	講義	9:00-9:50	
V. 検案の実際	佐藤喜宣 (杏林大) 大野曜吉 (日医大)	講義・ 演習	10:00-15:20 適宜昼食休憩 (50分程度)	・学問的に難解なものではなく、日常よく遭遇すると思われる事例を具体的にわかりやすく解説する。 <事例検討> ・死体検案時エコーの必要性 ・児童虐待 ・風呂場での死亡例・餓死例・凍死の場合の死因 ・後頭下穿刺の施行についての評価 ・死後日数の経過した病死例の検案 ・突然死症候群 ・コタツでの死亡例 ・死後経過時間の判定 ・新しい科学的検案情報 ・DNA鑑定について ・家族への納得いく説明について 等 ・検案で分からないことは分からないとはっきりとと言えるために必要なこと
VI. 検案の実施法 VII. 監察医業務の意義	福永龍繁	ビデオ 講義	15:30-16:15 16:25-17:10	検案の心構え 東京都監察医務院の紹介
事務連絡			17:10-17:30	・見学実習に関する手続きの説明 ・後半の説明

(後半) 3 日目(H.17.2.19)		講師	形式	時間	主な内容
Ⅶ. 家族への対応		吉田謙一 勝又義直	講義	9:20-9:40	・ グリーフケア ・ 保険金問題 ・ 裁判への対応
			演習	9:40-10:50	
			講義	11:00-11:45	
(昼 食)					
Ⅸ. 症例報告	的場梁次 (大阪大学)		説明	12:35-12:45	・ 説明 ・ 各自見学実習等で検視・解剖した症例を持ち寄り、検案上の問題点のディスカッション
			発表	12:45-15:35	
			講義	15:45-16:30	
修了式		厚生労働省担当官 国立保健医療科学院 長 日本法医学会理事長		16:30-17:00	・ 講評 ・ 修了証書授与

見学実習：各自で監察医業務、法医学解剖の見学を行うこと。申込みは所定の用紙で各自が行う。
 (例：監察医務院、監察医事務所、準監察医制度施行所、科学警察研究所、各大学法医学教室)

Fax No. 048-469-6112

死体検案講習会参加申込書 (前半：平成 16 年 9 月 18 日・19 日 後半：平成 17 年 2 月 19 日) 於：国立保健医療科学院
--

お申し込み日 平成 年 月 日

参加者お名前			
	様		
診療科名 役職名			
日中のご連絡先（都道府県名からご記入下さい。） 〒			
Tel:		Fax:	
Email:			
所属医師会名 (郡市区)		警察（協力）医の 指定の有無	有 無

お申込みは、下記連絡先までFAXにてお知らせ願います。
なお、申込受付は8／20日（金）までとさせていただきます。

連絡先：〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
国立保健医療科学院総務部教務課教務第三係
Tel :048-458-6185
Fax:048-469-6112